

人文科学研究所研究叢書

64.『続 英雄詩とは何か』

2017年3月25日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格3,200円（税別）

ISBN 978-4-8057-5348-4

まえがき	
第一部 古代メソポタミア・古代ギリシア	
時間と仲介者 —古代メソポタミアの神話・宗教解釈についての若干の視点—	松島 英子
ギルガメシュの死と死者供養	唐橋 文
ホメロスの叙事詩の評価をめぐって —古代から現代までの受容の問題—	小川 正廣
第二部 古英詩	
古英語詩『モールドンの戦い』の英雄は誰か —‘ofermod’の解釈の可能性—	原田 英子
英雄詩としての『モールドンの戦い』再考	唐澤 一友
第三部 中世フランス文学・中世ドイツ文学	
比較神話学から見た騎士ゴーヴァンの諸相 —太陽・チェス・鹿との関連をめぐって—	沖田 瑞穂
三本目の剣を祖国に残すメリヤドゥック —十三世紀古フランス語韻文物語『双剣の騎士』を読む—	渡邊 浩司
カール大帝の妃に対する不倫疑惑の物語 —『モーラントとガリエ』（『カールマイネット』第二部）について—	渡邊 徳明
研究活動記録	